

北海道大学大学院水産科学研究院（水産工学分野）における教員（助教）の公募について

令和6年8月28日

1. 公募人員：助教1名
2. 任期：5年 ただし、審査のうえ1回（5年）を限度として再任可
3. 所属：
（雇入れ直後）大学院水産科学研究院 海洋生物資源科学部門 水産工学分野
（変更の範囲）大学の定める場所
4. 専門領域：工学的側面から漁業生産技術の高度化に貢献する教育・研究分野
5. 職務内容：
（雇入れ直後）大学院水産科学研究院，大学院水産科学院及び水産学部（全学教育を含む）に係る教育・研究・運営等に従事する
（変更の範囲）大学の定める業務
6. 主な担当授業科目：
大学院水産科学院：水産工学に関連する科目（講義・実験・演習・実習等）
水産学部：海洋資源科学科に関連する科目（講義・実験・演習・実習等，乗船実習を含む）
全学教育科目：水産科学に関連する全学教育科目
7. 応募資格：
博士の学位を有するか，採用までに学位を取得する見込みであること
8. 採用予定時期：令和7年4月1日以降，できるだけ早い時期
9. 試用期間：あり（3か月）
10. 給与：国立大学法人北海道大学年俸制教員給与規程による
11. 勤務形態：同意に基づく専門業務型裁量労働制（※）または固定労働時間制を適用（※1日に7時間45分労働したものとみなす）
12. 健康保険等：文部科学省共済組合，厚生年金，労災保険，雇用保険加入
13. 募集者の名称：国立大学法人 北海道大学
14. 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙
15. 提出書類：下記(1)~(7)についてはプリントアウトしたものとPDFファイルの両方を提出すること。(8)についてはPDFファイルを提出すること
 - (1) 履歴書：書式任意。ただし顔写真（最近6か月以内に撮影されたもの）を添付し，生年月日，現住所，連絡先，高等学校卒業からの学歴，職歴，学位名，学位取得機関，取得年月と学位論文題名，賞罰を記載すること。なお，平成25年4月1日以降，北海道大学に在職経験（非常勤講師，TA，TF，RA，短期支援員等すべての職種を含む）のある者は，当該職歴を漏れなく記載すること
 - (2) 研究業績一覧：原著論文，シンポジウムプロシーディング，著書，総説，解説，その他に分けて記載のこと（原著論文は，レフリー制学術雑誌に掲載されたものと，非レフリー制雑誌に掲載されたものに分けて記載すること。受理済みまたは印刷中の原著論文については受理証明を添付すること。シンポジウムプロシーディングについては，査読の有無を記すこと。コレスポンディングオーサーとなっている共著論文全てについて論文番号の後に*を付すこと）
 - (3) 主たる研究内容の解説（2,000字程度）：これまでの研究内容を解説した文書。さらに，主要論文1~5編を選び，それらの論文の要点と学術的意義をアピールする文章を添えること

- (4) 教育業績一覧：大学等における講義，実験・演習科目等の担当歴，大学生・大学院学生の研究指導歴，社会における教育普及活動実績等を記載すること
- (5) その他の業績一覧：大学，学会，社会における各種委員会等の活動歴，招待講演歴，フィールドワーク歴，研究費取得歴，特許等を記載のこと
- (6) 教育・研究及び大学の運営に関する抱負（2,000字程度）
- (7) 応募者について照会できる2名の氏名と連絡先：ただし，応募者は照会者に連絡を取る必要はありません
- (8) 研究業績別刷集：研究業績一覧に記載したものについては，書籍を除きPDFファイルで提出すること

16. 応募期限：令和6年10月28日(月) 17:00必着

17. 応募書類提出先：

〒041-8611 北海道函館市港町3丁目1番1号

北海道大学 大学院水産科学研究院 水産工学分野 教員選考委員会 委員長 今村 央

※「教員応募（水産工学分野）」と朱書し，簡易書留で郵送のこと。応募書類は返却いたしません。なお，応募書類に含まれる個人情報，選考目的以外には使用いたしません

18. 本公募照会先：水産工学分野教員選考委員会委員長 今村 央

電話：0138-40-5539 E-mail：imamura AT fish.hokudai.ac.jp（ATを@に置き換えてください）

19. その他：教員選考委員会から追加書類の提出を求める場合があります。また，必要に応じて応募者の面接を行います（交通費は応募者の負担）

水産科学研究院に関する詳細はホームページ<https://www2.fish.hokudai.ac.jp/>をご参照ください

20. 参考：

- (1) 本分野では，漁業生産のための数学・物理学による基礎理論と応用工学を教育し，持続可能な漁業生産を維持するための工学的技術やそれに関連する研究開発を行っています。
近年，漁業・養殖業のDX化による高付加価値化や省力化が求められています。これらに対応するには，漁業生産技術をシステムの枠組みとして捉え，現象の数理モデル化によるシミュレーション技術の開発と，それを適切に制御できる技術の開発が必要で，本公募ではこのような側面から教育・研究を進めることができる方を望んでいます。また，実際の漁業の現場を対象とした研究経験を有する方を希望します
- (2) 当該分野は函館および札幌キャンパスに勤務する以下の教員から構成されています（令和6年8月28日現在）。本公募による採用者は原則として大学院水産科学院を担当し，函館キャンパスに勤務することになります
教授：高木 力，安間 洋樹
准教授：米山 和良，高橋 勇樹
助教：（本公募）
- (3) 就業条件については，本学の定める就業規則に基づきます
(https://www.hokudai.ac.jp/jimuk/reiki/reiki_honbun/u010RG00000447.html)
- (4) 本学では，将来ビジョンとして「HU VISION 2030」，「北海道大学創基150年に向けた近未来戦略」を掲げています
- (5) 本学では，多様な人材による教育・研究活動の推進，男女共同参画推進，教育・研究活動と生活の両立支援，能力発揮・活躍環境整備に努めており，女性及び外国人の積極的な応募を歓迎します